

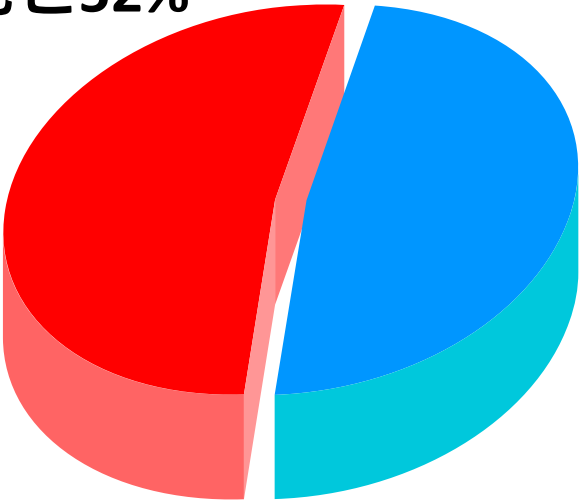
救命胴衣を着用しよう

着用すれば助かる命があります！

漁船からの海中転落者の生存／死亡率（平成15～29年の平均値）

【非着用】

死亡52%

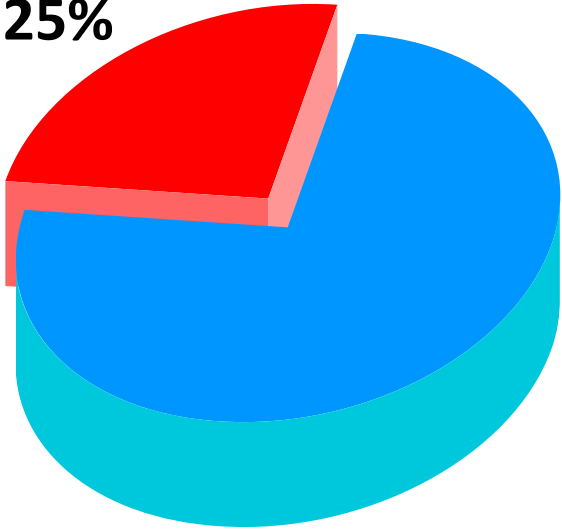


生存48%

死亡の割合は
約1/2に！

【着用】

死亡25%



生存75%

救命胴衣を着用すれば 万が一の際にも助かる確率が高くなります。
自分の命を守るため 必ず着用しましょう。

救命胴衣を着用しよう

あなたの働き方に合うタイプを見つけましょう

漁労作業中でも着用しやすい機種が開発されています。

代表的な救命胴衣のタイプ



固型式

発泡樹脂で浮力を得ます。安価で丈夫。動きやすくするため折目を入れるなどの工夫をしている機種も多くあります。



膨脹式（首掛け型）

固型式よりコンパクト。落水時にはガスボンベで気室を膨らませて浮力を得ます。



膨脹式（腰ベルト型）

固型式よりコンパクト。落水時にはガスボンベで気室を膨らませて浮力を得ます。



気体密封式

固型式に似ていますが、空気を封じ込めた袋が入っているため柔らかく動きやすくなっています。

2018年2月に救命胴衣着用義務範囲が拡大されました。乗船時には必ず桜マーク（国土交通省型式承認試験及び検定への合格の印）が付いている救命胴衣を使用しましょう。

救命胴衣を着用しよう

「桜マーク」付きの救命胴衣を使いましょう

桜マーク = 国土交通省型式承認試験及び検定に合格した製品であることを示す印



桜マークの表示例

膨脹式では気室に表示されていることもあります。

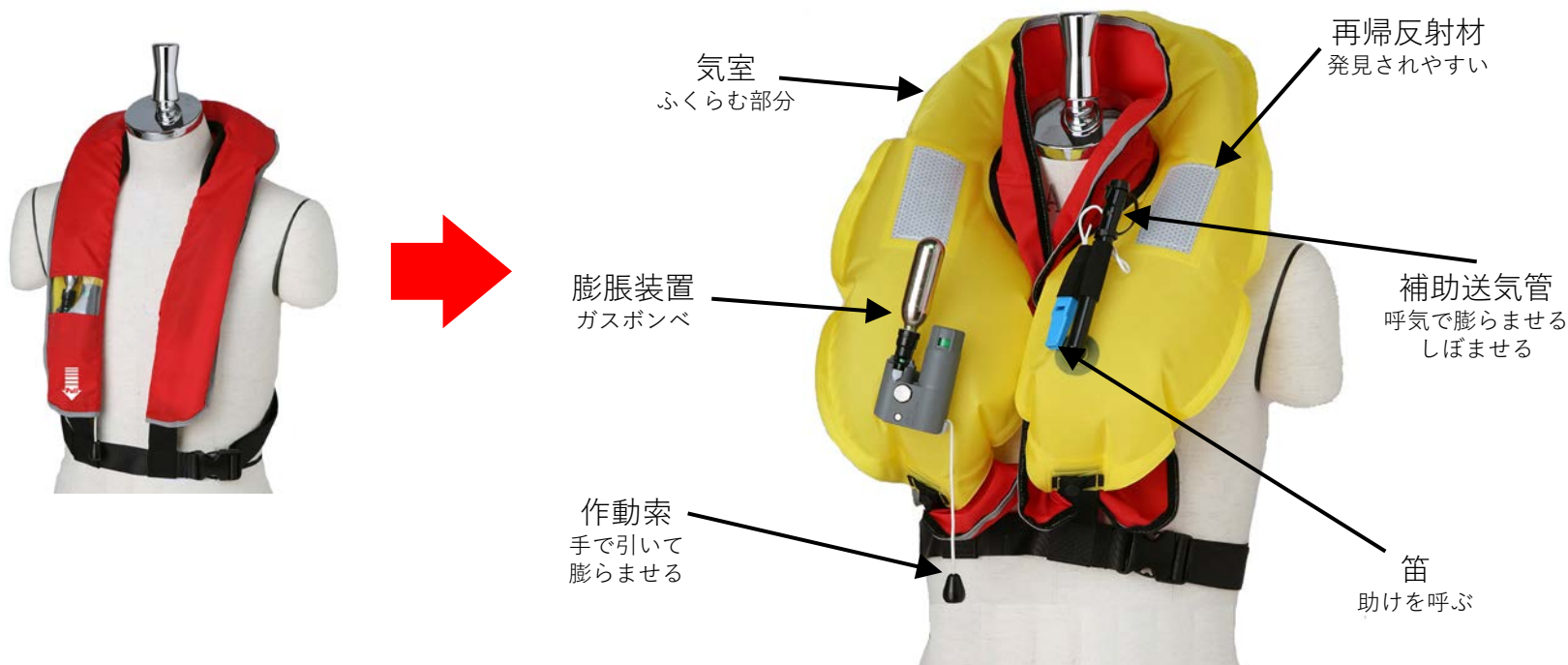
乗船時には桜マーク付きの救命胴衣を着用する義務があります。

いざというときに命を守る道具です
機能・品質が確かな製品を選びましょう

救命胴衣を着用しよう

膨脹式の膨らみ方を確認しておきましょう①

【首掛け式の一例】



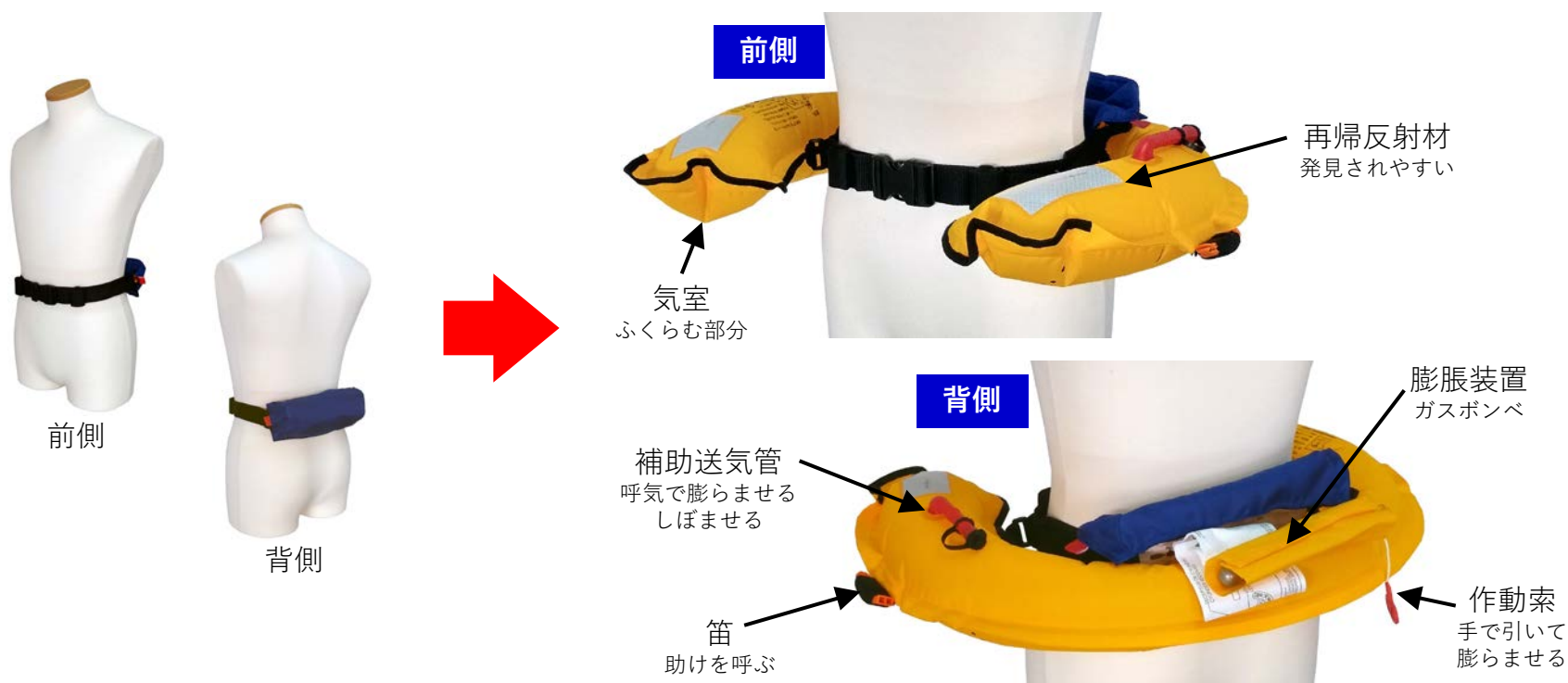
膨脹式の救命胴衣はいざと言うときのために膨らみ方を知っておくことが重要です。

膨脹式は機種によって膨らみ方が異なる場合があります。
点検を兼ねて膨らみ方も確認しておきましょう。

救命胴衣を着用しよう

膨脹式の膨らみ方を確認しておきましょう②

【腰ベルト式の一例】



膨脹式の救命胴衣はいざと言うときのために膨らみ方を知っておくことが重要です。

膨脹式は機種によって膨らみ方が異なる場合があります。
点検を兼ねて膨らみ方も確認しておきましょう。

手すりを設置しよう

船べりには手すりを設置しましょう。
海中転落や転倒の防止になります。



手すりの設置例①



手すりの設置例②

ひっかかりにくい救命胴衣を選ぼう

漁網を使う漁業（特に刺網など）では網にひっかかりにくい服装が必要です。
救命胴衣もひっかかりにくいものを選びましょう。



ひっかかりにくい製品の例①

ひっかかりやすいファスナー部分に
カバーを装備



ひっかかりにくい製品の例②

手動索を本体の裏側に固定できる



非常停止装置を設置しよう

ネットウィンチへの巻き込まれは命に関わる危険な災害です。
非常停止装置を設置して巻き込まれるリスクを減らしましょう。



非常停止装置の設置例①

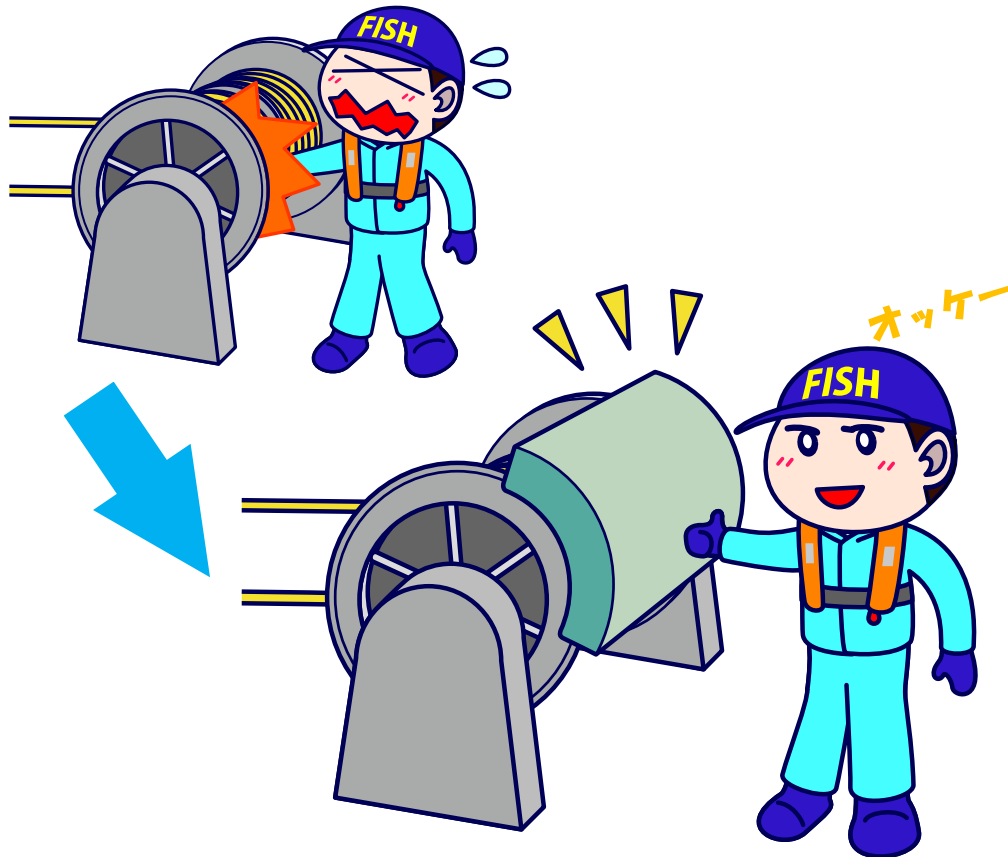


非常停止装置の設置例②

ネットウィンチ上のバーやひもを引っ張ると、電氣的に（あるいは物理的に）クラッチを外すなどしてネットウィンチの巻き取りを停止させる仕組みのものが一般的です。

ウィンチにカバーをつけよう

ウィンチへの巻き込まれは命に関わる危険な災害です。
カバーを設置して巻き込まれるリスクを減らしましょう。

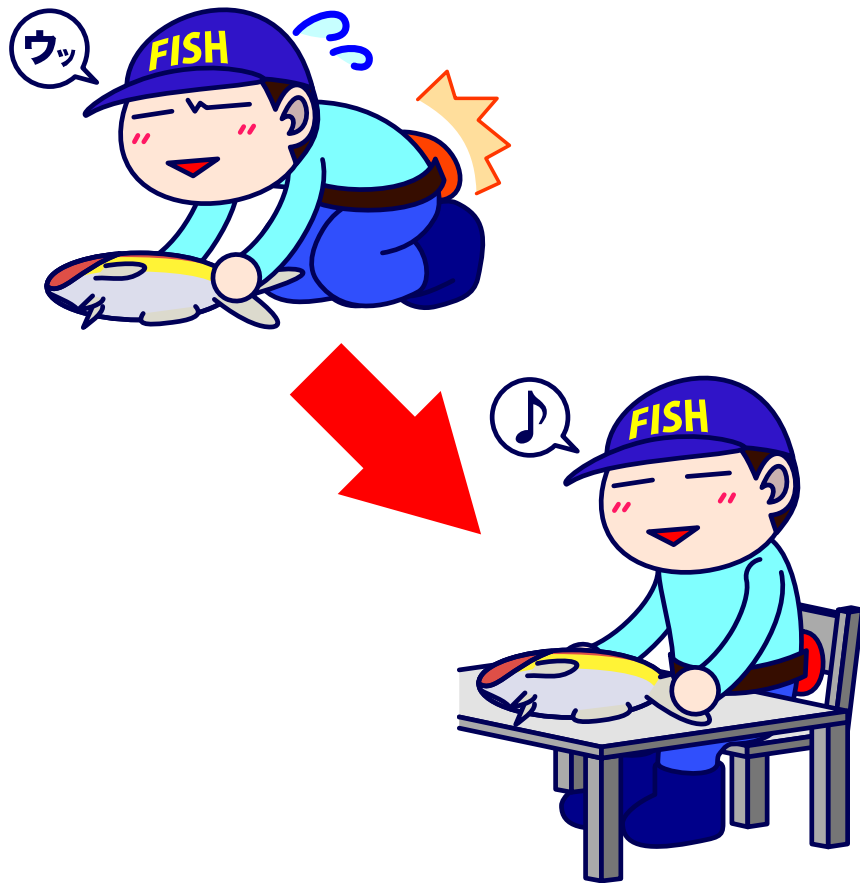


ワープ（曳網）ウィンチに設置した
カバーの例

普段 漁具などが出入りしない側に
カバーを付けましょう

選別作業台を設置しよう

床置きでの長時間作業は足腰などを痛める原因になります。
選別作業台を採り入れて足腰にやさしい姿勢で作業しましょう。



選別作業台の設置例

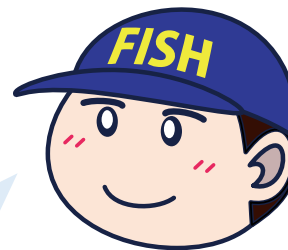
AIS*を設置しよう

AISは自動的に自船の位置を発信するため
AISを搭載する他船に発見されやすく 衝突事故の回避に役立ちます



AIS搭載例

使用している
漁業者の声



大型の商船などが
AISで早めに自船を
見つけてくれるので
衝突回避に役立っています

曳網などで操縦が制限されている漁船でも
できるかぎり相手船の針路を避けなければなりませんが
AISで相手船に早く気付いてもらえれば衝突のリスクを減らすことができます。

道具を整理しよう

道具などを床に放置したままだと転倒の原因になります。
整理して作業しやすい環境にしましょう。



整理整頓された甲板の例

転倒は漁船上でもっとも頻繁に起こる労働災害のひとつです。
しっかり対策をして転倒災害を未然に防ぎましょう。

甲板の段差をなくそう

床の段差はつまずいて転倒する原因になります。
船の建造やリシップなどの機会に段差のない甲板にしましょう。



段差の少ない甲板の例①

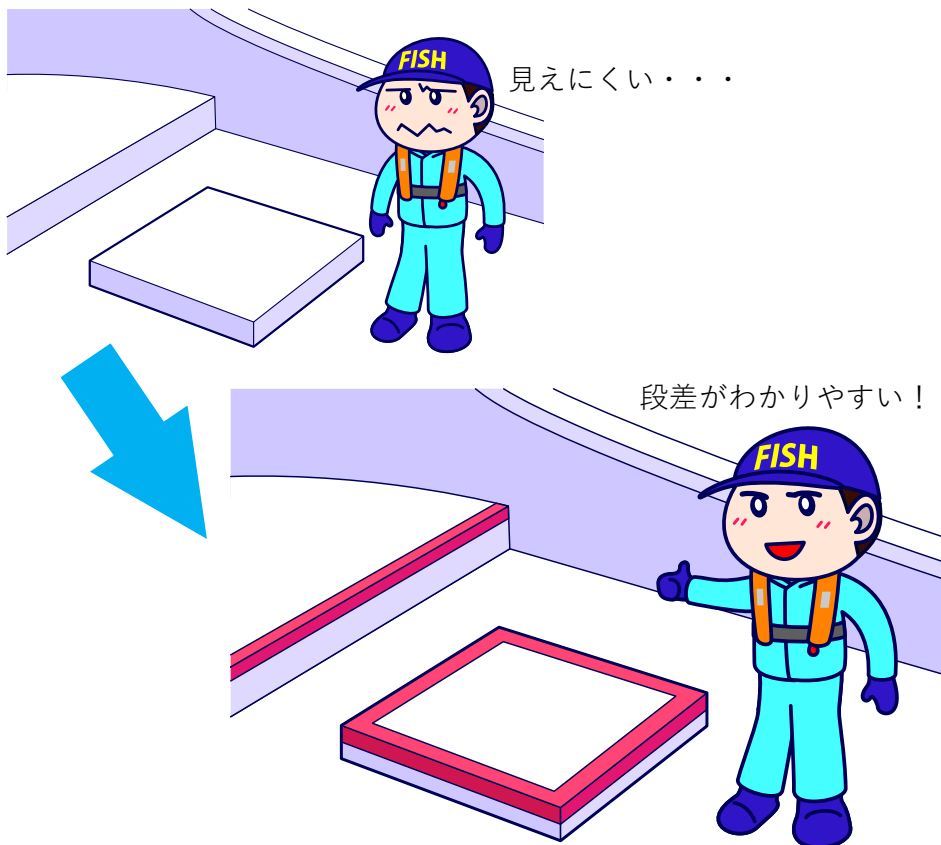


段差の少ない甲板の例②

転倒は漁船上でもっとも頻繁に起こる労働災害のひとつです。
しっかり対策をして転倒災害を未然に防ぎましょう。

甲板の段差に目印をつけよう

床には段差がないのが理想的ですが
すぐに解消できない場合には段差を色分けするなどして目立たせましょう。



魚倉ふたの塗り分け例②

転倒は漁船上でもっとも頻繁に起こる労働災害のひとつです。
しっかり対策をして転倒災害を未然に防ぎましょう。

浮栈橋を使おう

漁船と岸壁の高さが合わないとき
荷物の積み下ろしの際の負担が増すばかりでなく
乗下船時の転倒や転落の原因にもなります。

届かない・・・



固定岸壁

いつもばっちり



浮栈橋

潮位によって作業や
上下船の条件が変わる
(場合によっては危険)

常に一定の高さ
安全な作業・乗下船



浮栈橋の例

浮栈橋を使用すれば常に一定の高さで作業や乗下船ができ
作業負担ばかりでなく転倒や転落のリスクを減らすことができます

保護具を着用しよう

万が一の転倒や衝突などに備えて
ヘルメットなどの保護具を着用しましょう。



保護具の例

漁船上では転倒、はさまれ、まき込まれ、飛来・落下などの災害が多く発生しています。
しっかり対策をして災害を未然に防ぎましょう。